



## さあ、答え合わせをしよう！

## Vol.68 調べてみよう～食①

※ココを見てね! ▶調べてみよう～生活文化「食(しょく)」

1. 暖かくなった縄文時代(じょうもんじだい)には、定住(ていじゅう)生活をはじめます。そこで、食料(しょくりょう)を保存(ほぞん)したりするためのあるものが登場(とうじょう)します。いったい どんなものですか？

正解:②貯蔵穴(ちょぞうけつ)

住みやすい場所を見つけて、定住生活(ていじゅうせいかつ)をはじめようになった縄文人(じょうもんじん)。秋のうちに拾(ひろ)ったたくさん木の実などを集めておいておく場所があれば、食べ物の少ない冬の間も安心ですね。みんなのお家では、スーパーや市場(いちば)で買ってきた食料品(しょくりょうひん)を冷蔵庫(れいぞうこ)や棚(たな)、パントリーに置(お)いているでしょう。縄文人(じょうもんじん)も同じことを考えたのですね。正解は、②貯蔵穴(ちょぞうけつ)。これに対し、貝塚(かいづか)は使い終わったものを捨(す)てる場所です。

2. 弥生時代になると、朝鮮半島(ちょうせんはんとう)から日本列島(れっとう)にも新しい食文化が伝わり、西日本を中心にひろまってゆきます。それは、いまの日本でも主食となっています。さて、どんな食べ物かな？

正解:②コメ

日本にはじめてパンがお目見えしたのは1543年、航海中(こうかいちゅう)に種子島(たねがしま)に漂着したポルトガル人から鉄砲とともに伝わりました。その後、キリスト教の布教(ふきょう)のために来日したフランシスコ・ザビエルらによって日本でもパンが焼(や)かれるようになりました。ちなみに、日本で「パン」というのはこのときのポルトガル語に由来(ゆらい)するもので、世界的には「ブレッド(bread)」とよばれることが多いです。また、ソバが日本に伝来(でんらい)したのは奈良時代(ならじだい)以前だと言われています。最初は、そばがきなどの食べ方が主流(しゅりゅう)で、江戸時代の頃からそば切りという現在のスタイルが確立(かくりつ)されたようです。えっ?正解?!弥生時代(やよいじだい)にひろまった食文化(しょくぶんか)といえ、②コメですよ!日本人のコメ離(ばな)れが問題になっている昨今、私たちはもっとお米を食べないといけませんね。

3. 石川県(いしかわけん)の杉谷チャノバタケ遺跡からは 2,000 年前のたて穴建物の中から、日本列島(れっとう)で最古(さいこ)のあるものが2つ見つかりました。さて、何がみつかったのかな？

正解:②おにぎり

杉谷チャノバタケ遺跡は、弥生時代(やよいじだい)中期から後期を中心とした集落跡(しゅうらくあと)で、この遺跡からは、日本最古の「チマキ状炭化米塊(ちまきじょうたんかまいかい)」=おにぎり が出土(しゅつど)しました。昭和62年に行われた発掘調査(はくつちょうさ)で、約2,000年前のたて穴建物の壁際(かべぎわ)で2つ、完全(かんぜん)な形で見つかりました。正解は、②おにぎり。このように調理(ちょうり)され、整(ととの)った形でみつかる米は全国的にも珍(めずら)しく、保存食(ほぞんしょく)であったというほか、霊的(れいてき)なものへのお供物(そなえもの)、または厄除(やくよ)けという「まじない」であった可能性(かのうせい)も考えられます。現在、「おにぎり」の本物は石川県埋蔵文化財センターに大切に保管(ほかん)されていますが、JR「能登部(のとべ)」駅や道の駅「織姫の里なかのと」にはレプリカが展示(てんじ)されています。